

2022年9月23日  
損害保険ジャパン株式会社

## YONAGO防災フェスタ～オフラインで繋がる親子のキズナ～の開催について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）は、地域の防災意識向上を図る取組みとして、一般社団法人米子青年会議所（理事長：稲田 祥悟）主催のもと、特別協力会社として、「YONAGO防災フェスタ～オフラインで繋がる親子のキズナ～」を企画・開催しました。

### 1. 背景・経緯

損保ジャパンは鳥取県米子市と2022年6月に締結した「災害対応力向上に関する連携協定」をもとに、SDGs（11 住み続けられる街づくり）の取組みとして、地域防災意識向上を目的としたイベントを企画・開催に至ったものです。

### 2. イベント概要

「YONAGO防災フェスタ～オフラインで繋がる親子のキズナ～」の内容は以下の通りです。

#### (1) 開催日・開催場所

2022年9月23日（祝・金）10:00～17:00  
米子コンベンションセンターBIGSHIP多目的ホール

#### (2) 出展企業・団体

特別協力：山陰酸素工業株式会社、損害保険ジャパン株式会社  
後援：鳥取県、米子市 他  
出展企業：株式会社フラップゼロアルファ（体感型謎解き脱出防災アトラクション）  
他 地域の防災インフラを支える企業15社

#### (3) 来場者数

約1,000名

#### (4) イベント内容

- ・鳥取県米子市の防災に関する取組みを広く周知するため、オープニングイベントでは米子市伊木隆司市長にご挨拶をいただきました。
- ・イベント会場では従来とは異なるリアルな避難訓練を体験いただける、フラップゼロアルファ社の「体感型謎解き脱出防災アトラクション」を山陰地区初開催し、地域の小学生とその保護者を中心に災害非難時の緊迫感を謎解きとともに体験いただきました。
- ・会場内の地域企業による展示ブースでは、米子市、金融機関、食品スーパー、ハウスメーカー、自動車ディーラー、ガソリンスタンド、工事会社など地域の災害時のインフラを支える公共団体・企業による最新の防災取組について来場者に防災に関する学びを提供しました。
- ・電気自動車による災害時給電デモンストレーション、軽自動車による非難時車中泊モデル、ドローンの操作体験、災害復旧重機のシミュレーター体験、スマート通帳、防災ラジオ、防災非難グッズ、防災保存食のご紹介など各企業が工夫を凝らした展示で来場者に楽しみなが

らも災害への備えの重要性をお伝えしました。

- ・ 損保ジャパンは「防災ジャパンダプロジェクト」として災害調査用のドローンの展示や避難先で役立つ紙食器づくりやレインポンチョの作成、さらにお子様にも防災を分かりやすく説明する防災人形劇（映像）で紹介しました。

地域初の試みでしたが、相次ぐ台風襲来のタイミングもあり、来場者の関心も高く盛況なイベントとなりました。

### <YONAGO防災フェスタ>



### <会場の様子>



### <オープニングセレモニー>



(写真左から)

- 一般社団法人米子青年会議所 理事長 稲田 祥悟 様
- 米子市長 伊木 隆司 様
- 山陰酸素工業株式会社 代表取締役社長 並河 元 様
- 損害保険ジャパン株式会社 山陰支店 藤中 麻里子支店長
- 日産プリンス鳥取販売株式会社 専務取締役営業本部長 中津尾 直己 様
- 第一生命保険株式会社 鳥取支社 支社長 松永 宏之 様

### <体験型謎解き脱出防災アトラクションの様子>



### 3. 今後について

損保ジャパンは、同イベントを通じて鳥取県西部地域の方々の防災意識が高まり、自助・公助・共助の観点で、地域住民それぞれができることから取り組んでいただけるまちづくりに協力をしていきたいと考えます。

以上